

「社会インフラ」として、事業基盤を強化

代表取締役社長 山本 昇氏



江守情報

福井市順化1-24-38

公共システム・民間会社システム構築、海外ソフトウェア販売業務、化学関連法規データビジネスなどの事業を展開。昨年、ウィズコロナの状況下で5期連続増益となった。さらなる生産性向上へ、鯖江にサテライトオフィスを新設。丸岡の事業所を改修中だ。昇給も実現し、生産性は5年で170%向上した。

「IT業界は1970年からの黎明期、1990年からの成熟の時代、2010年からの停滞期を経て、ここ10年は大転換期の中にある。DXの推進など機能の提供から価値の創造が求められる。『In The Customer』の考え方や『第3の視点』がより大事になる。供給者でも利用者でもない第3の立場からお客さまの話聞き、信頼関係のもと潜在的なニーズに答え、しっかりと提供したコンセプトを提供したい」と思いを語る。

混沌とした不穏な時代に「事業基盤の強化は必須」と考え、昨年12月、北陸電力の子会社となった。「ITは今や電気と同様、社会のインフラとなっている。多種・広範なIT利用者への適応力を持ち、安全・安心を安定して提供することが重要。高い信用力のある北陸電力グループの一員となることで、一層安心いただけるだろう」。

スローガンに掲げる「iEMORi Quality」のすべてをお客さま目線で」と、「今一度、社会貢献を強く意識したい」と展望する。「AGILITYの俊敏さ、ABILITYのニッチな専門的能力、AFFORDABILITYの適切な価格という三つのAを目標に、お客さまの近くでお役に立ち、社会貢献を果たしたい」と表情を引き締めた。